

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 9. 5

下水道機構の『新技術情報』 第249号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

台風10号は北海道、東北地域に甚大な被害をもたらしました。昨年旅行で訪れた空知地方のニュース映像を見てとても心が痛みました。犠牲になられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまへお見舞い申し上げます。また行方不明となっている方が一刻も早く発見されますようお祈り申し上げます。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第249号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第64回下水道新技術セミナー(8/19@東京、8/26@大阪)を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、9/6(火)に第3審査証明委員会を、9/8(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・環境問題解決の大切さを実感する本(研究第一部 S.K.さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・本日のゆいまーるは、機構OBのM.Aさんからの投稿で甲府市のマンホールふたをお届けします(^_^♪

■国からの情報

- ・9/2付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。

- 第64回下水道新技術セミナー(8/19@東京、8/26@大阪)を開催しました

東京会場は東京都港区の発明会館、大阪会場は大阪市西区の大阪科学技術センターで開催し、両会場合わせて約180名の方が参加されました。

近年の局地化・集中化・激甚化する降雨や都市化の進展に伴い多発する浸水被害への対応が求められるなか、平成 27 年度には下水道法・水防法の改正が行われ、ソフト・ハード両面からの水害対策を強化する法制度の整備が行われるとともに、本年 4 月には、このような背景を踏まえ新たな内水浸水対策を一層推進するための 7 種のガイドライン類が策定されました。

そこで今回は、「新たな内水浸水対策の取り組み」をテーマとして、最新の知見や国の方針、自治体における取組事例、先進技術等について専門家や当該業務に携わる自治体の方を講師にお迎えして、ご講演いただきました。

基調講演として、早稲田大学理工学術院関根教授より「都市浸水予測の最前線とこれを踏まえた対策のあり方」と題し、浸水予測とその対策に関する最新の知見についてご講演いただきました。その他、特別講演として、国土交通省水管理・国土保全局下水道部井上流域管理官（東京会場）、吉澤流域下水道計画調整官（大阪会場）より、国における新たな浸水対策の取り組みについて、さらに各自治体における事例報告として、広島市下水道局から倉本施設部長（東京会場）、施設部計画調整課松田主任技師（大阪会場）、厚木市河川みどり部から高橋下水道施設課長にご講演いただきました。併せて、当機構の研究第二部片桐担当部長より、流出解析モデルの利活用に関する研究の成果についてご紹介させていただきました。

本セミナーの講演内容については、講演ダイジェスト（基調講演・特別講演）をニューズレターにて平成 28 年 10 月頃に配信します。また、セミナーの資料については、準備が整い次第、会員サイトにアップをする予定です。

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●平成 28 年 9 月 6 日(火) 13:20~16:30

行 事：平成 28 年度第 2-1 回第 3 審査証明委員会

場 所：東京都足立区

案 件：平成 28 年度新規申請案件の現場試験立会・審議

●平成 28 年 9 月 8 日(木) 17:00~18:00

行 事：第 351 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：国土交通省 国土技術政策総合研究所

下水道研究部 下水道研究官 岡本 誠一郎氏

テーマ：「下水道技術ビジョンの進化 —その目指すところ—」

※お申込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.9.2付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

リオオリンピック閉会式では、マリオに扮した安倍総理が話題になりましたが、A-JUMP、B-DASHなど、下水道事業はマリオと親和性が高いことで有名です。特に、安倍総理が登場した「土管」も下水管であり、あの形をイメージしたのが、一部で有名な「下水道万歳」です。次回の東京五輪に向けた取組の一つですが、トライアスロン世界シリーズ横浜大会で2年連続女子1位など、業界で有名な川崎係長（下水道企画課）が、瀬古さんなどと一緒に道路の暑さ対策で試走する姿が下記記事の写真に載っていますので紹介します。

<http://www.jiji.com/jc/p?id=20160831151933-0022236275>

台風10号等、連続した大雨により、東北、北海道を中心として下水道施設にも被害が発生しております。

<災害・防災情報>

<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の受賞案件の決定！（下水道企画課）

○シンポジウム「我が国のレーダ雨量計研究開発50年の歩み」のご案内

（土木学会水工学委員会）

○GKP わいがやトーク「気候変動問題とアフリカの水事情」のお知らせ（GKP）

○大阪市がJICAに提案した「ホーチミン市非開削下水道管路更生計画」

が採択され実施に向けた協力準備調査が始まります（大阪市）

○「国際標準型アセットマネジメントの方法」刊行のお知らせ

=====

○国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の受賞案件の決定！（下水道企画課）

先般多数のご応募をいただきました平成28年度の循環のみち下水道賞について

選定委員会での厳選なる審査の結果、今年度の受賞案件は以下の10件となりました。

表彰式は9/9(金)に国土交通省にて開催いたします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000310.html

受賞案件の詳細は以下で公表しておりますので是非ご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000085.html

<受賞団体【受賞案件名】>

●グランプリ

・堺市【熱源、水源、地域資源に下水再生水をフル活用】

●イノベーション部門

・横浜市【パワートレインチームによる国際貢献活動】

・新潟市【下水熱を利用した歩道融雪】

●レジリエント部門

・大阪府【下水道と河川の一体的整備による浸水対策効果の発現】

・熊本市【熊本地震におけるマンホールトイレの活用】

●アセットマネジメント部門

・ポリエチレンライニング工法協会【リサイクル可能な材料を用いた管更生技術】

・公益財団法人長野県下水道公社【下水道公社を活用した下水道事業の広域化・共同化】

●広報・教育部門

・神奈川県立大師高等学校、川崎市、下水道広報プラットフォーム

管路情報活用有限責任事業組合、メタウォーター株式会社

【キャリア教育を意識した夏季連携講座「下水道マニア」】

・伊勢市【お伊勢さんの美しい水環境の創出】

・「下水道のひみつ」制作チーム（公益社団法人日本下水道協会、

株式会社学研プラス、株式会社 YHB 編集企画、漫画家 ひろ ゆうこ）

【学習漫画「下水道のひみつ」の制作・発刊】

今年度は多くのご応募をいただきまして誠にありがとうございます。

来年度も様々な取組を積極的にご応募いただけますと大変うれしく思います。

○シンポジウム「我が国のレーダ雨量計研究開発 50 年の歩み」のご案内

（土木学会水工学委員会）

このたび、国土交通省レーダ雨量計研究開発 50 年を記念して以下のとおり土木学会水工学委員会主催でシンポジウムが開催されます。これまでの 50 年間の技術進展を振り返り、今後の展開について討議するなど盛りだくさんの内容となっております。

多くの皆様からご参加いただけますと幸いです。

■シンポジウム「我が国のレーダ雨量計研究開発 50 年の歩み」

開催日時：平成 28 年 10 月 18 日（火）13:30～17:30

開催場所：東京大学本郷キャンパス 武田先端知ビル 5F 武田ホール

主催：土木学会水工学委員会

共催：実践水文システム研究会

後援：国土交通省（予定）、水文・水資源学会

参加費：無料

申し込み先：レーダ雨量計 50 周年記念事業事務局（東京工業大学土木・環境工学系 鼎研究室）

(radar50@chikyu.mei.titech.ac.jp)

※夜懇親会も予定していますので、ご出席をお願いします。

※来賓として水管理・国土保全局長が出席予定です。

<シンポジウムの内容（予定）>

第1部：レーダ雨量計 50 年の歩み：コーディネータ（国土技術総合政策研究所 深見 和彦）

レーダ雨量計の開発経緯（元 関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所 木暮陽一）

レーダ雨量計の黎明期（元（株）東芝 畑浩靖）

偏波技術の導入について（元 土木研究所 水野雅光）

レーダ雨量計の民間活用（（株）建設技術研究所 兪 朝夫）

第2部：レーダ雨量計の活用：コーディネータ（京都大学教授 中北英一）

レーダ雨量計の学術研究への活用（福岡工業大学教授 森山聡之）

レーダ雨量計の河川管理への活用（近畿地方整備局淀川河川事務所防災情報課長 藤原雅二）

レーダ雨量計の周辺分野への活用（神戸大学教授 大石哲）

全体討議（ファシリテータ 中央大学教授 山田正）

↓↓↓↓シンポジウムに関する URL↓↓↓↓

<http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/node/143>

○GKP わいがやトーク「気候変動問題とアフリカの水事情」（GKP）

9月13日（火）16時より、GKP わいがやトークを以下のとおり開催いたします。

今回のわいがやトークは、地球環境保全に関する国際的な環境行政の事務方のトップとして気候変動政策の責任者を務めてこられた寺田達志氏をお迎えいたします。

今春まで務められた駐ケニア特命全権大使の職務を通じ、「世界の気候変動」や「アフリカの水事情」等にどう向き合ってきたのか、日本の環境外交の課題や技術協力のあり方などについてお話しいただく予定です。

【開催概要】=====

日時：平成28年9月13日（火）16時～18時40分

講師：寺田達志氏

演題：気候変動問題とアフリカの水事情

～日本の環境外交の課題と水技術への期待～

内容：第1部「わいがやトーク」（16時～17時30分）

第2部「懇親会」（17時40分～18時40分）

※懇親会については参加費用1,000円を頂戴いたします。

会場：日本下水道協会 5階大会議室

=====

詳細につきましては、GKP ホームページをご覧ください。

ホームページ : <http://www.gk-p.jp/>

○大阪市が JICA に提案した「ホーチミン市非開削下水道管路更生計画」が採択され実施に向けた協力準備調査が始まります（大阪市）

大阪市が JICA に提案した「ホーチミン市非開削下水道管路更生計画」の実施に向けた協力準備調査が今月から開始されます。このプロジェクトは、平成 27 年に新たに制度化された「地方自治体と連携した無償資金協力制度」を活用し実施される第 1 号のプロジェクトです。大阪市が、ベトナム・ホーチミン市において、平成 23 年度から進めてきた下水道分野における技術協力において、現地で課題となっている老朽下水管対策として、管路更生工法が有効であることに着目し、平成 27 年 11 月に同技術を用いたプロジェクトを JICA に提案し、今年 5 月に採択されました。

協力準備調査は、来年 9 月末までの工期で、公募により選定された一般財団法人都市技術センターと株式会社日水コンの共同企業体で進められ、大阪市はプロジェクト提案者として JICA に対するアドバイザーとして協力を行います。

今回の協力準備調査の開始にあたり、大阪市長がホーチミン市をトッププロモーションのため訪問し、9 月 6 日には、昨年度に JICA の民間技術普及促進事業を活用して管更生工法がパイロット施工された現場を視察する予定です。詳細は次のとおりです。

・大阪市長会見内容

<http://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/cmsfiles/contents/0000348/348386/frip2.pdf>

・報道発表内容（協力準備調査開始）

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryu/kensetsu/0000374118.html>

・報道発表内容（大阪市長トッププロモーション）

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryu/keizaisenryaku/0000374323.html>

○「国際標準型アセットマネジメントの方法」刊行のお知らせ

この度、小林潔司、田村敬一、藤木修の三氏による編著にて「国際標準型アセットマネジメントの方法」が日刊建設工業新聞社より刊行されました。

本書はアセットマネジメントの全体の概要とそれを支えるアセットマネジメント技術を、ISO55000 シリーズの枠組みに沿って解説するものです。全体は概ね 3 つの部分から構成されており、1～5 章ではアセットマネジメントの市場動向と ISO55000 シリーズの果たす役割について、6～10 章では ISO55001 における要求事項の逐次解説とそれを達成するため有用なアセットマネジメント技術について、また 11～14 章では ISO55001 の導入の方法とアセットマネジメントの適用事例が紹介されています。

ご存知のようにアセットマネジメントに関しては 2014 年 1 月から国際標準である ISO55000 シリーズが発行され、すでに下水道分野においても官民合わせて 10 数件の認証がされるなど、大変注目されている分野であります。

IS055000 シリーズは、国土交通大臣と経済産業大臣を主務大臣とする JIS 化に向けた準備が進められています。JIS 化の動きに伴い、アセットマネジメントの目的や手法を理解し、その技法を使いこなすことが、官民を問わず大変重要になってきている中、本書の刊行は大変時宜を得たものであり、アセットマネジメントを理解するうえで本書が大いに助けになることが期待されます。

【参考情報】

- ◆国交省概算要求 公共事業、16%増6兆円 インフラ整備に力〈8/31 毎日新聞〉
<http://mainichi.jp/articles/20160830/ddn/008/010/035000c>
- ◆浸水想定区域指定遅れ 9人犠牲の施設周辺 震災も影響〈9/2 朝日新聞〉
<http://www.asahi.com/articles/ASJ915VH3J91UTIL03T.html>
- ◆下水道老朽化で道路陥没、年3千件超 被害広がる恐れ〈8/27 朝日新聞〉
<http://www.asahi.com/articles/ASJ886T4NJ88UTIL059.html>
- ◆大阪の下水で発電 新電力に販売、大阪ガスが新事業へ〈8/28 産経ニュース〉
<http://www.sankei.com/west/news/160828/wst1608280018-n1.html>
- ◆松山市下水道事業36年に赤字転落 経営審〈8/31 愛媛新聞〉
<http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20160831/news20160831308.html>
- ◆マンホールのふたをリニューアル 三宮センター街〈9/2 神戸新聞〉
<http://www.kobe-np.co.jp/news/kobe/201609/0009447260.shtml>
- ◆家屋や道路、高潮で浸水被害 京都府北部の若狭湾沿岸〈9/1 京都新聞〉
<http://www.kyoto-np.co.jp/local/article/20160901000076>
- ◆泥水急迫ぼうぜん 住民「死ぬかと」 台風10号〈9/1 北海道新聞〉
<http://dd.hokkaido-np.co.jp/news/society/society/1-0311085.html>
- ◆紀伊半島豪雨で浸水、取り壊し 民宿経営の夫妻、食堂で再起 奈良〈9/1 産経ニュース〉
<http://www.sankei.com/region/news/160901/rgn1609010032-n1.html>
- ◆河川氾濫 街は水浸し…台風10号〈9/1 読売新聞〉
<http://www.yomiuri.co.jp/local/iwate/news/20160831-0YTNT50337.html>
- ◆道路冠水 700人孤立…台風10号〈9/1 読売新聞〉
<http://www.yomiuri.co.jp/local/iwate/news/20160831-0YTNT50346.html>
- ◆マンホールカード、千葉県内でも 船橋など3市で配布 多彩なデザイン人気〈8/31 産経ニュース〉
<http://www.sankei.com/region/news/160831/rgn1608310013-n1.html>

ホームページ: <http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20160531/>

